

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 4 月（着任 1 年 10 カ月目）
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業化に向けた取り組み</li> <li>2 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ</li> <li>3 指宿枕崎線座談会への参加</li> </ol>

## 1. 事業化に向けた取り組み

西穎娃駅を改良して人々が集まれる場所としたい。そのために必要となることは何か。思いを同じくする人との打ち合わせを行いながら進めています。

有識者との打ち合わせの中で、列車内で物品販売や観光案内のおもてなしをしている団体のことや、西穎娃駅が 1960 年代に建てられた標準仕様の駅舎であることから、その作りを活かした取り組みも良いのでは、というアドバイスもいただくなど、実り多いものとなりました。

また、事業化に向けてどのようなことを行っていくか協力者とともに話し合いました。駅を中心として発展できる取り組みは、自分が想像していた以上であると思いを新たにしました。



## 2. 地域活性化の取り組みに関する打ち合わせ

地域を活性化するために、目的地となるようなものはないか。他の地域で田畑を使った「ご当地バレーボール大会」があることを知り、観光名所として知られつつある郡地区のコスモス畑となる一角をお借りして実施できるよう、関係者の方々と打ち合わせを行っています。

バレーボールを行った場所が秋には一面のコスモス畑になる。参加者にとって思いで深い地となるよう、そしてバレーボールで楽しんでいる光景と鉄橋を走る列車のコラボレーションによって、沿線地域の認知度が上がることを目標に取り組んでまいります。



【開催予定地】



【他地域での開催の様子】

## 3. 指宿枕崎線座談会への参加

指宿枕崎線の利用者を増やしたいことと、沿線価値をどのように向上させていくか。をテーマにした座談会に参加しました。

呉工業高等専門学校の新田教授によるレクチャーの後、意見交換を行いました。地域として目指したい方向や共通認識、また、地域プラス鉄道の強み(弱み)は何かを出し合いました。内容も興味深く、これを次にやってみたい、という内容も出てくる、地域づくりを観点に取り組む座談会となりました。

